

## 2 いじめ未然防止のための取組

(1) 認められ、受け入れられる学級づくり、学校づくりを推進する。

- ◆自らの気持ちや考え方を安心して表現できる学級づくり
- ◆温かな人間関係を育む学級づくり
  - ・スクールカウンセラー、外部有識者等の定期的な助言
- ◆自分自身を率直に表現できる教育活動の計画・実施
- ◆聴く姿勢の育成を重視した学習活動等の実施

(2) 児童相互、児童と教職員とのつながりを強める取組を充実させる。

- ◆聴く力の育成を重視した教育活動の実施
  - ・朝の会の充実
  - ・授業での聴き方の指導 等
- ◆相互の立場や気持ちを伝え合う活動の重視
  - ・気づき、感じ方、考え方、理由等を引き出し、互いに味わう授業の充実
  - ・主体的・自主的な学級活動の工夫 等
- ◆「つながり」を育む行事等の実施
  - ・全校児童をつなぎ、年齢をこえてかかわり合うことのできる特別活動の計画・実施
  - ・相手を意識するとともに、とりわけ年齢の低い子を支える全校活動の実施
- ◆相手を意識して話し、行動できる力の育成
  - ・話す態度、声の大きさなど、話す力を育てる学習活動の工夫・実施
  - ・相手の立場や考え方、その違い等を重視した特別活動の実施
  - ・当番、役割の工夫等「みんなのために活動する」ことへの価値観の育成
  - ・合唱活動、大縄大会等「心一つにする」取組の充実

(3) 自分が確かに伸びていると感じられる学びを実現させる。

- ◆「学び手としての力<sup>※1</sup>」を伸ばす授業づくりの推進
  - ・一人一人の考え方を引き出し、互いに味わう授業づくり
  - ・自らの「目当て」を意識し、真摯に振り返ることのできる授業づくり
  - ・粘り強く誠実に取り組む学習の重視
  - ・心地よい緊張感のある授業づくり
  - ・自らの考え方を率直に述べ、聞き合い、新たに見つけ出すことのできる授業づくり

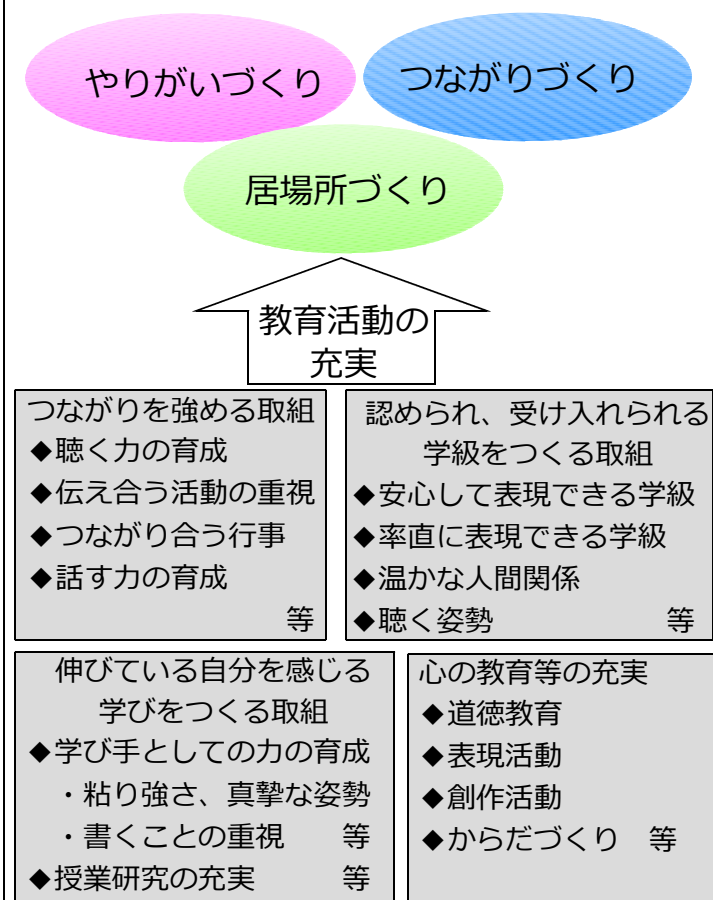


図6 教育活動の充実といじめ防止についての考え方

※1 豊かに気づき、考えを持つ力、誠実に真摯に取り組む力、よく聴く力、書いて考える力、自らの目当てと方法を意識しがんばり続ける力等、自ら学ぶ力を指す。学習者としての資質・能力。

